

NIFAアクションプラン2018→2022	全体	頁中の 地区協会 委員会 連盟
1. 現状の概要と今後の方向性		
<p>新潟県サッカー選手権大会は、天皇杯JFA全日本サッカー選手権大会の新潟県予選を兼ねた大会で、新潟日報杯・共同通信杯の主催協力を得ながら大会を開催する県No.1を決める意義のある大会である。</p> <p>しかし、参加チーム数が減少（2008年度42チーム、2012年度30チーム、2015年度24チーム、2018年度15チーム）していることから、参加チーム数増加と大会の活性化が課題となっている。</p> <p>2015年度より2種チームの大会参加資格が無くなったことや、2017年度にJFAカレンダー改革による日程変更を余儀なくされたことなど、参加チーム数の減少要因ともなっているが、社会人登録チーム数自体の減少によるものと過密日程による各種大会との調整が難しくなってきたことなど参加しづらい状況となっている。</p> <p>また、2019年度より、共催支援社のNHKが全国的な共催辞退により、経費提供及びテレビ放映がなくなることで、チーム側にとっての魅力が減少することが予測される。</p> <p>この課題に対して、社会人連盟及び大学連盟との連携強化を図り、すべてのチームが参加しやすい大会に整備することと、この大会独自の参加メリットを創出し魅力ある大会をつくることが急務である。</p> <p>これまでの中期目標であった2018年目標の対しての達成度や現状、今後の長中期目標に対しての現状の概要、今後の大まかな方向性などについて書いて下さい</p>		

NIFAアクションプラン2018→2022	全体	頁中の 地区協会 委員会 連盟
2. 中期目標（2030年）		
<p>1. 大会参加チーム数が40チームになる（2018年度15チーム）</p> <p>1. 天皇杯JFA全日本サッカー選手権大会で新潟県代表チームが3回戦に進出（ベスト32）する</p> <p>1. 予選トーナメントから人工芝にて実施する</p> <p>1. タイムスケジュールに従った、スムーズな運営ができる。</p>		

NIFAアクションプラン2018→2022	全体	頁中の 地区協会 委員会 連盟
3. 長期目標（2050年）		
<p>1. 準決勝以上はスタンドのあるスタジアムで実施され、また決勝戦観客動員を一万人になる。</p> <p>1. 各種全国大会や北信越大会を実施する際のボランティアが育っている。</p> <p>1. 新潟県サッカー選手権大会の実施方式が各種大会のモデルとなっている。</p>		

NIFAアクションプラン2018→2022					全体 頁中の 頁
4. 現状分析					地区協会 県選手権実施 委員会 連盟
No. と 事項	2022年具体的目標	2018年における現状	達成度	目標達成へ向けての課題	改善の方策
1、参加チーム	24チーム参加 北信越リーグ 5 県リーグ 13 大学 6	15チーム参加 北信越リーグ 3 県リーグ 8 大学 4	70%	<登録チーム数の増加> 1、情報把握 チーム事情の把握 他県大会の情報把握 2、情報提供 チームへの告知 チームへの広報活動 3、日程の見直し 他大会含めた過密日程	アンケート実施及び対策 北信越担当者との連携強化 大会案内等の告知強化 HP等大会情報提供強化 各対象連盟との連携強化 (社会人、大学、フットサル)
2、運営	大会運営の充実（運営人数）	大会運営少数にて実施 日程調整が困難（他大会の重複）	80%	<大会運営の充実> 1、チーム運営 チーム運営委員の運営 2、実施委員の充実 実施委員の運営参加 3、日程の見直し 日程調整の困難（他大会の重複）	運営に関する業務指導強化 帯同審判業務に対する指導強化 実施委員との連携強化 実施委員の増加 各対象連盟との連携強化
3、経費	参加チーム数を増やす 会場費の軽減に努力する	助成金に頼っている 会場費が参加費及び助成金の50%	30% 70%	<運営費用の確保> 1、運営経費の捻出 参加チーム数の激減 2、運営経費節減 運営経費の増大	各情報の把握と対策を検討 大会の魅力を創出 運営経費の軽減に努力 各市町村との連携にて会場確保
事項番号と見出し	事項の中での具体的な目標 明確に、可能であれば数値で	2022年目標に向けての2018年での現状 達成度の%表記を右欄へ記入→	%表記	目標達成のために解決すべき課題	課題を解決、改善のための方策の概要

5. 具体的アクション

県選手権実施委員会
連盟
地区協会

No.	誰が	いつ・いつまでに	どこで	何を	どのように
1-1	実施委員会	毎年大会案内まで 毎年常に	各種登録チームに対し 他県担当者との連携し	要望アンケートを実施し 他県の県選手権情報を	対策検討し魅力を創出する 収集し対策を検討する
1-2	実施委員会	毎年大会案内時に 毎年常に	各種登録チームに対し HPやSNSを活用し	参加案内の強化を行い 大会案内、情報などを	参加を促す 更新して魅力を創出する
1-3	実施委員会	毎年大会案内までに	各担当者と連携し	各種大会日程調整を	実施し対策を検討する
2-1	実施委員会	毎年常に	参加チーム担当者に対し	運営に関する業務指導を	実施し理解を促す
2-2	実施委員会	毎年常に 毎年常に	実施委員と連携し 実施委員と連携し	具体的目標と対策を 新規人材を	検討し共有する 検討し確保する
2-3	実施委員会	毎年大会案内までに	各担当者と連携し	各種大会日程調整を	実施し対策を検討する
3-1	実施委員会	毎年常に 毎年大会案内までに	登録チームに対し 試合の	要望などを ネット配信など	把握し魅力を創出する 独自の魅力を創出する
3-2	実施委員会 実施委員会	毎年常に 毎年会場調整時に	実施委員と連携し 各市町村と連携し	購入経費・人件費などを 会場経費を	抑えて経費削減する 抑えて経費削減する